

単元名 「はらい」の筆使い

配当時間 5時間

単元の目標 (1) 左右の「払い」の筆使いの違いを理解するとともに、左右の「払い」の筆圧に気を付けて書くことができる。
 (2) 左右の「払い」に気を付けて、自分の課題を考えて書くことができる。
 (3) 左右の「払い」の筆使いに気を付けて、字形を整えて書こうとする。

標準的な展開例

03020104_001

【教材名】『大』（毛筆）／こう筆の学習「はらい」（硬筆）／レッツ・トライ 暑中みまい（硬筆）／レッツ・トライ セーフティ教室の作文（硬筆）（P. 17～P. 23）

【準備等】水書板、電子黒板、練習用紙、はがき

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「払い」の筆使いに気を付けて、『大』を書く。 ★「払い」の筆使いに気を付けて書こう ○用具の扱い方や姿勢について確認する。</p> <p>○硬筆と毛筆で『大』を試し書きし、課題をつかむ。</p> <p>○左右の「払い」の筆使いの違いと筆圧のかけ方を理解する。</p> <p>○練習する。</p> <p>○まとめ書きをする。</p> <p>○試し書きと比べて自己評価する。</p> <p>○硬筆でまとめ書きする。</p> <p>3 「払い」の方向に気を付けて、『人』『大』『木』を硬筆で書く。 ★「払い」の方向に気を付けて、硬筆で書こう ○硬筆で『人』『大』『木』を試し書きする。 ○毛筆で学習した「払い」の方向や筆圧について確かめる</p> <p>○『人』『大』『木』，続いて『身』『太』『矢』を練習する。 ○「払い」を含んだ『文集』『漢字』『水泳』をまとめ書きし、自己評価する。</p> <p>○『千』『月』『近』，続いて『動』『調』『返』を書く</p> <p>4 文字の大きさや行の中心に気を付けて、はがきに書く。 ★文字の大きさや中心に気を付けて書こう ○教科書のはがきの文面を試し書きする。</p> <p>○試し書きと教科書P. 21のはがきの文面とを比較して、基準を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆圧の強さを数値（3段階）で理解させる。 ・教科書P. 6～P. 7の姿勢図を使って確認させる ・硬筆は教科書P. 18の「ためし書き」の欄を活用させる。 ・水書板や電子黒板を利用し、「払い」の筆使いや運筆の速度を具体的に見せ、自分の課題を立てさせる。 ・「左払い」は、始筆の角度のまま筆を運び、筆圧を弱めながら穂先をそろえてゆっくり払うことを確認する。 ・「右払い」は、始筆は小さく、徐々に筆圧を強めていき、一度止め、筆圧を弱めながら穂先をまとめて、ゆっくり右横に払うことを確認する。 【評】話し合いの様子や作品を通して、「払い」の筆使いに対する「知識・技能」を評価する。 ・「払い」の筆使いができていれば、方向にも注意するよう促し、個別に支援する。 【評】練習や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・「左払い」と「右払い」の両方に気を付けさせる。 ・試し書きと比べ、基準の達成を確かめさせる 【評】作品や自己評価を通して、左右の「払い」の筆使いと自分の課題を考えて書く「思考・判断・表現」を評価する。 ・教科書P. 18の「まとめ書き」の欄を活用させる。 ・教科書を見ないで書かせる。 ・同じ「左払い」でも、『人』は約45度を開いて払い、『大』は緩やかな角度で払うことを確認する。 ・「右払い」は一度止まってから、方向が変わることを確認する。 ・「払い」の方向の違いと筆圧に気を付けて書かせる。 ・他の文字でも同じきまりで書けることに気付くよう机間指導する。 【評】作品や自己評価を通して「払い」に対する「知識・技能」を評価する。 ・「短い払い」，「長い払い」，「にようの払い」を書き、払う方向や長さの違いに気を付けながら書けるよう支援する。 ・巻末の漢字表などから「払い」のある漢字を探して書かせる。 ・書き始めや、行の中心に着目できるよう促す ・「暑中みまい」では、どの文字を大きくするとよいか、相手に気持ちが伝わるように書くにはどうするとよいかを考えられるようにする。

<p>○宛名の書き方を知る。</p> <p>○はがきの書き方を理解して，練習する。</p> <p>○教科書P. 21のはがきの文面をまとめ書きする。</p> <p>○夏休みに書く意欲をもつ。</p> <p>5 文字の大きさや配列に気を付けて，作文を書く。</p> <p>★文字の大きさや配列に気を付けて書こう</p> <p>○縦書きの原稿用紙の書き方で気を付けることについて理解する。</p> <p>○教材文を書く。</p> <p>○他教科の学習でも，文字の大きさや配列に気を付けて書こうという意識をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「挨拶文を大きめに書く」「平仮名，片仮名は，漢字より小さめに書く」「行の中心をそろえて書く」ことを確認する。 ・文字の大きさは，①相手の名前，②相手の住所，③自分の名前，④自分の住所の順に大きく書くことを押さえる。 ・はがきの原寸の用紙を用意する。 ・自分の課題に合った練習用紙を選択できるようにする。 <p>例) ・中心をそろえられるよう中心線を引いた用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き始めの文字を書いてある用紙 <p>・自分の課題がどうだったか，試し書きとまとめ書きを比べて評価するように指示する。</p> <p>【評】作品や自己評価を通して，文字の大きさや行の中心に対する「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを生かして，夏休みにはがきを出そうと声掛けをする。 ・ポストに出す前に書き忘れや料金が合っているかを確認することを伝える。 <p>・教科書P. 22の作文を見ながら，国語の時間に学習した原稿用紙の書き方について，確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①書き始めは，1 ます空ける。 ②名前は，姓と名の間を1 ます空ける。 ③平仮名，片仮名は，漢字より小さめに書く。 ④点や丸は，2 の部屋に書く。 ⑤始まりの「かぎ」は4 の部屋，終わりの「かぎ」は1 の部屋に書く。 <p>・書き出しや句読点の位置に気を付けて練習するように声掛けをする。</p> <p>【評】作品を通して，文字の大きさや配列に対する「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを活用して書くことができるように，日常の活動の中で基準を振り返られるようにする。
---	--

【 備 考 】